令和7年 9月 1日発行

こばと

守口市民生委員児童委員協議会
編集　広報・調査部会
第85号
守口市京阪本通２－５－５
守口市社会福祉協議会内
〒570-0083 電話 6992-2715

現委員の皆さんが特殊詐欺被害防止アドバイザー『まもりぐち隊』に!!

近年、全国的に増加傾向にある特殊詐欺被害を未然に防ぐため、守口警察は市民に向けた積極的な啓発活動を展開しています。

２０２４年11月27日（水）、定例会にて、守口警察生活安全課の大石様にお越しいただき、特殊詐欺被害防止のための認定講習会が行われました。そこでは実際の被害電話の音声を聴き、詐欺の各種手口の実例や、ＡＴＭでの振り込みを疑った時に阻止する声かけの仕方など、実践的な方法の紹介と啓発が行われました。受講したみなさんには後日、守口市を守るヒーローとして活躍している『マモルヒーロー』から特殊詐欺被害防止アドバイザー認定証が渡されました。

【現状は…】大阪府警が運営する『安まちメール』の守口市に関する情報の中でも昨年９月ころから特殊詐欺発生情報が急激に増えており、このような注意喚起にもかかわらず、パソコンのウイルス感染警告画面表示によるサポート詐欺や、還付金があるという電話に従いＡＴＭで振り込んでしまうという実害の報告が絶えません。犯人は言葉巧みに陥れてきます。不審な情報を見聞きしたら、家族や警察に相談して詐欺を防いでいきましょう。

羽間　知里

新年初会合

２０２５年１月25日（金）
新年初会合　ホテルアゴーラ大阪守口にて

令和になり早７年目、コロナ禍での活動自粛が緩和され、平常を取り戻す中、はとの会の諸先輩方をはじめ、ご来賓の方々をお迎えし、総勢１６０名の参加で開催されました。民生委員児童委員信条および児童憲章の朗読の後、萩原会長の挨拶がありました。南海トラフ地震を含む自然災害に対する情報の共有と支援の必要性を改めて感じることができました。

その後、瀬野市長及び水原市議会副議長からの挨拶がありました。奥山副会長から乾杯の音頭がとられ、各テーブルから笑い声が聞こえ、楽しい会食の様子がうかがえました。

今年のゲストは、４代目櫻川房丸氏と囃子は櫻川満若社中の皆さまで、江州音頭の披露により歌や踊りの輪が徐々に広がり、会場は大いに盛り上がっていました。

最後に、全員で『花咲く郷土』を合唱し、委員相互の親睦を深めるとともに、地域活動の充実を見つめ直す意義ある新年初会合となりました。

囃子に合わせて、踊りの輪に参加者が増えていきました

令和７年度表彰（敬称略）

～受賞者の皆様おめでとうございます～

〈大阪府知事表彰〉

永年勤続民生委員表彰（20年）

守口　地区　中場　康子
土居　地区　尼子　弘子
八雲東地区　西村　千代美
下島　地区　寺尾　文子
庭窪　地区　鈴木　照代
金田　地区　竹川　清美
東　地区　河野　順子
大久保地区　砂原　比佐代
南　地区　桒原　典子

優良民生委員表彰（10年）

永年勤続主任児童委員表彰（20年）

守口　地区　杉原　清子
土居　地区　森　滝子
錦　地区　神谷　慶子
庭窪　地区　楠　由美子
金田　地区　萩原　朋子

優良主任児童委員表彰（10年）

三郷　地区　村山　かおり
橋波　地区　谷　睦

〈全民児連会長表彰〉

民生委員・児童委員功労者表彰

守口　地区　中場　康子
杉原　清子
土居　地区　尼子　弘子
森　滝子
錦　地区　神谷　慶子
八雲東地区　西村　千代美
下島　地区　寺尾　文子
鈴木　照代
庭窪　地区　廣瀬　彰久
楠　由美子
金田　地区　竹川　清美
山田　由紀美
萩原　朋子
東　地区　河野　順子
谷　壽美子
大久保地区　砂原　比佐代

永年勤続民生委員・児童委員表彰

橋波　地区　谷　睦

みなさまお疲れさまでした！更なるご活躍を!!

〈春の勲章・褒章〉

瑞宝双光章　行政相談功労
東地区　河野　順子　委員

新任民生児童委員紹介（敬称略）

令和７年４月１日委嘱
橋波地区　橋本　雅美

令和７年８月１日委嘱
八雲東地区　田島　由美

コメント

昨年の５月に家族の介護のため民生児童委員の退任を申し出ました。

後任の委員さんが見つからず、私は日常の生活になっており、再度委嘱のお話があり、受けることに決めました。これからも頑張っていきたいと思います。

橋本　雅美

河北ブロック民児協連総会

1月31日（金）ホテルアゴーラ守口において総会が開催され、７市から45名の参加でした。奥山副会長の司会で萩原会長の開会あいさつに続いて、瀬野守口市長が来賓あいさつをされました。

萩原会長が議長を務め、各市より令和６年度状況調査及び事業報告がありました。

一人暮らし高齢者や要援護者の実態把握と支援、子育て支援等、助成事業では子ども対象の打楽器コンサートや夏休み映画鑑賞会の申込みにＷＥＢやＱＲコードを使用し、盛況だったと報告されました。

守口市も地域福祉の推進に参画、キッズキャンパス（子ども食堂）、安否確認タオルの配布等を報告しました。

第２部情報交換会では鳥野局長の司会で和やかな雰囲気の中、日頃の活動のやりがいや運営の状況、更に一斉改選についてなどを話し合い、とても有意義な会でした。

開催にあたり事務局の皆様に大変お世話になりましてありがとうございました。

寺島　登志子

訃報

大久保地区　池嶋　忠雄　委員
令和７年５月14日逝去

（はとの会）
庭窪地区　仲　清次郎　委員
令和７年５月15日逝去

橋波地区　中川　利勝　委員
令和７年６月15日逝去

寺方地区　中西　正子　委員
令和７年７月27日逝去

謹んでご冥福をお祈りいたします。

編集後記

こばと81号から広報部会委員となり編集後記を担当してから、瞬く間の三年間でした。部会に参加するたびに話も弾むようになり、毎回がとても楽しい編集会議となりました。さすが民生委員さん！と思える方々に出会え、たくさんのためになるお話や体験をいただきました。

この後は一斉改選となり新しい部会メンバーに組み変わると思いますが、未体験の方はぜひ！この広報部会に所属していただいて楽しい時間を過ごしてほしいと思います！

最後になりましたが、関わってくださった皆さま、三年間お世話になりありがとうございました。

髙山　孝一

人権研修

今、世界中の至る所で紛争や戦争が勃発しています。戦争は人々の基本的な人権を侵害する最たる例です。ニュースで子どもや女性が逃げ惑い、負傷者を運ぶ映像を見るたびに心が痛みます。

本日の人権白書の中に「人権とは誰もが生まれながらにして持っている人間として幸せに生きていく権利」とあります。戦争の中に人権はありません。

本日の人権研修会に参加して、治安の良い日本でも、女性や子どもを初め、高齢者や障がいのある方の人権に対して私たち民生委員は「何が出来るのか」「何処まで踏み込んで出来るのか」この事を改めて考え、「寄り添う気持ち」を忘れずに接するべきだと痛感しました。

清水　昭實

部会報告

障がい高齢者福祉部会研修会

「介護予防と自立支援」

講師　理学療法士　藁科さん
包括支援センター　矢倉さん

介護保険の現状と今後の課題について説明があり、介護予防の必要性や老後の生活をより楽しく過ごしていく為にはどのように生活すべきなのか色々と話がありました。日常の食事や運動も大切ですが、人とのつながりや社会とのつながりが非常に重要であることを教わりました。

地域包括支援センターでは、フレイル（筋肉低下）予防のため地域で暮らす高齢者の皆さんに、元気な自分を取り戻せるように様々な通いの場などで日常生活支援に取り組んでいます。多くの人が理解し、活用して今後の人生を楽しくいつまでも元気で自立生活が送れるようになりたいと思いました。

西川　光男

児童福祉部会研修会

JCOMの粟津千草氏を迎えて、インターネットの良い所、悪い所を教えていただきました。情報収集のほか、買い物、ゲーム、電子メールや電子掲示板など何もかも簡単に解決でき、今やインターネットは私たちの暮らしに欠かせないものとなっています。それにともない、インターネットに関する消費者相談も増え続け、アダルト情報サイト、出会い系サイト、オークション、アフェリエイト（画面上の広告）など新しいトラブルが次々と発生しています。家庭でも子どもたちと常に話し合い、正しい使い方をしていきたいと思います。

坂本　路子

児童福祉部会 三世代ふれあいっ子

令和7年6月28日（土）よつば小学校、7月5日（土）八雲東小学校で開催しました。対象者は小学校児童及び保護者、先生、地域の高齢者の方々で三世代が一緒になっての楽しい遊びのひとときでした。

内容として、工作コーナー（うちわ・コマ・ビックリ箱・折り紙など）お楽しみコーナー（ガラガラ抽選・昔あそびなど）福祉・防災コーナー（災害時紙スリッパ・パラコート細工・紙芝居など）

当日は猛暑でしたが、体育館の中は和やかな声が共鳴、共感し、あっというまの1時間45分でした。自分で作った作品を喜んで持って帰る子どもたちを見送り、三世代交流事業が今後長く続くことを願わずにはいられませんでした。早朝より準備や片付け、撤収にご協力いただきました皆様に感謝いたします。

河野　順子

第1回河北ブロック主任児童委員連絡会研修会

令和7年6月23日　門真中町ビルにて

テーマ"聴いて、知って、実践"～主任児童委員制度30年を経て～

「児童虐待の現場から」

講師　子どもの虹情報センター
顧問　川崎　一二三氏

児童虐待とは、子どもを守るべき保護者による児童に対しての著しい人権侵害の事。虐待の種類は4つ。①身体的虐待②ネグレクト③性的虐待④心理的虐待（DV被害含む）

虐待による子どもへの影響は、育まれるべきものが育たず欠落する、身に着ける必要のないものを学んでしまう等、成長過程での悪影響は計り知れません。沢山の事例についてジェノグラム（家族関係を図式化したもの）を駆使し説明してくださいました。

児童相談所における虐待対応件数は急増していて、その中でも心理的虐待が多くを占めている。児童虐待を疑われる時は速やかに通告する義務があり、通告は支援のきっかけとなる。虐待を疑われる保護者も支援を必要としていることを忘れず、忍耐強く支援する気持ちが必要である。児童委員・主任児童委員は、支援のネットワークの一員として地域の中でできることを目指してほしい。とのお話でした。

森　滝子

生活福祉、児童福祉部会合同施設見学

令和7年2月14日（金）施設見学で兵庫耐震工学研究センター（Eディフェンス）に行ってきました。名前だけ聞くと難しそうで理解できないだろうなと思いながら参加しましたが、施設に着くとその広大な敷地と大きな建物に驚かされ、不安はなくなり楽しみに変わりました。

この建物の中に実物と同じ大きさの構造物を建て、それに地震の揺れを加え、壊れていく過程を調べる加震実験は見学できなかったのですが、説明員の方のお話だけでもその凄さが伝わり感動しました。参加して良かったと思いました。

杉原　清子

障がい高齢者福祉部会、広報調査部会合同施設見学

令和7年2月20日（木）に滋賀県危機管理センターに行ってきました。元教師で民生委員でもある防災リーダーの河原さんに館内の案内と防災講義を受けました。

危機管理センターは、県民の暮らしを脅かす災害が発生した場合、防災関係機関が集結して迅速かつ的確な対応を行う滋賀県の危機管理の拠点となります。

3階に情報収集や対策案を担うオペレーションルーム、2階は関係機関の代表が集まり情報共有しながら対策を協議決定する災害対策本部、1階は県民の皆さんの安全・安心につながる情報を発信するプレスセンター、その他には各階に、災害関係機関が活動する部屋を12部屋確保しています。

講義では、次の3点が大切だと学びました。

- 災害が発生したとき自分自身と家族の安全第一で行動する
- 日頃から家族と災害について話し合いをする
- 備蓄品は一週間位用意する

災害に対しての認識を確認する、大変有意義な見学会でした。

神内　稔

地区活動紹介

佐太地区

「おはようございます」と元気な子どもたちの声。

毎月第3月曜日はあいさつ運動の日。

佐太小学校の門の前で、登校してくる子どもたちの顔を見ながら、気になる子には声をかけたりして短い時間を過ごす日、私たちも子どもたちから元気をもらう日でもあります。

また毎月第3金曜日には「あそびの広場」を開いて、幼い子ども連れの親子が楽しく過ごせるように心配りしながら、私たちも親子とふれあう楽しさを味わっています。

あそびの広場の運営は3団体（地区福祉委員会、さんあい広場、地区民児協）の持ち回りです。一時期は親子の参加がまったくないこともあり、やめたほうがいいのではとの声もありましたが、いろいろな声かけが実を結んで、参加される親子も増えてきました。嬉しいことです。

民生児童委員会としての活動はこの2件だけですが、委員それぞれが地区福祉委員会、地域コミュニティ協議会の一員として、いろいろな行事の運営に参加して、地域の皆さんとのつながりを大切に、忙しく活動しています。

岡本　みち子

元気なあいさつ
ありがとう！

どんなお話しかな？

事例ファイル⑭

令和6年年末、「見守りをしている方の姿が見えない。電気はついているがチャイムを押しても応答がない」と相談を受けました。

マンションの管理組合は年末休みですし、プライバシー保護を理由に緊急連絡先を聞いていませんでした。「休み明けを待とうか」と話をしていた矢先、警察と救急がやってきました。もっと速く、できる事はなかったか、と後悔しました。

その後地区長会と定例会で、「安否確認ホットライン」の説明を聞きました。直後、同様の相談を受けましたので、すぐ高齢介護課へ連絡してもらい、入院を確認することができました。

高齢化が進む中、日頃の声掛けはますます大切であり、緊急連絡先の聞き取りを積極的にしていこうと思いました。

安否確認ホットライン

月～金　9時～17時30分
高齢介護課
06-6992-4010
休日　市代表
06-6992-1221
高齢介護課へ繋いでもらう